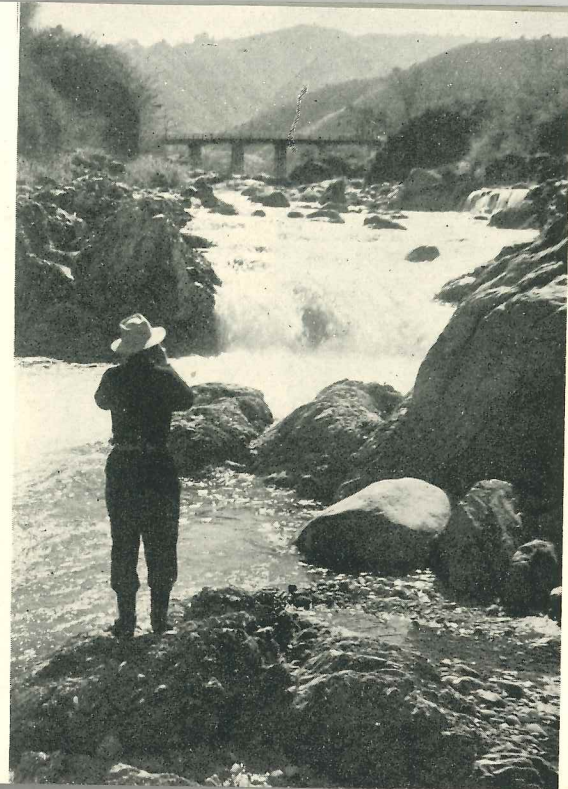


名	所在地	代表者	電話	名	所在地	代表者	電話
中村家具建具協同組合	田町	相原 水美	355	鐘ヶ淵紡績(株)相馬工場	北町	山田 実	405
相馬商工業協同組合	"	桜井 文治	"	丸三製紙(株)相馬工場	表西山	辻 英太郎	115
相馬皮革協同組合	宇多川町	波多野寅治	314	中村製紙株式会社	小泉	下浦四十五	157
相馬菓子商工業協同組合	新町	岡 直身	"	中村製氷 "	砂子田	岩沢岩太郎	160
協同組合相馬優良店会	大町	渡辺小佐司	550	桜井材木店	曲田	桜井 文治	248
相双酒造協同組合	曲田	松本 伝衛	10	相馬製材株式会社	小泉	神戸 正意	329
企業組合碧食品工業社	上町	佐藤 定雄	22	宇多川製材所	寺前	芦間 忍	331
八幡瓦製造販売企業組合	坪田	青山比呂志	"	松川造船株式会社	尾浜	早川 桶吉	2
相馬中村漁業協同組合	尾浜	立谷 勝治	原 3	高千穂工業 "	大津	大西 立二	5
磯部漁業協同組合	大川	馬場 芳雄	磯 5	相馬印刷株式	大町	上遠野 亨	23
飯豊漁業協同組合	岩ノ子	田村 貞鑑	15	只野印刷所	曲田	江幡 清	"
松川漁業生産組合	尾浜	久田 長輝	"	福島県酒類卸(株)相馬支店	宇多川町	阿部 多助	27
和田 " "	和田	藤田	"	福島県南酒類販(株)相馬支店	宇多川町	早川 俊助	101
土地改良区宇多沿岸事務所	北町	菅野 忠雄	462	富山鉱山	富沢	片山駿太郎	"
相双米穀卸売業協同組合	曲田	中野 直人	306				
中村営業所							

其の他の
組合団体

著名会社



観 光

観
光



中村城趾

慶長十六年（三百四十余年前）相馬利胤が中村城を築いて小高から移り、爾來相馬六万石衆代の居城となつた。天守閣は落雷のため夙く焼け失せてしまつたが、大手門、石垣、土壘、城壕等は昔のまゝに残り古城としての面影を止めている。馬蔵城とも呼ぶ。史蹟の指定をうける。城内老木鬱蒼たる中に、中村、相馬の両社が祭つてあり、東方に二の丸野球場、南面に長友籠技場が営まれている。西隅に聳え立つのは忠霊塔。

城趾の勝景は花によく青葉によく、紅葉によく雪によい。特に城郭内外数百本の櫻の水に映ずる美しきは格別である。中村駅西方一軒半

中村神社

相馬氏累代の氏神として妙見を祭つたが、維新後本地垂迹の思想が流傳され神佛分離の實行を見て、今は天御中主神を祭る。（妙見は観音寺に安置）しかし今尚、太田神社小高神社と共に相馬三妙見を以て称せられるは、永い間の傳承による。鎮守社として地方民の崇敬が殊の外篤い。中村城西の丘上に鎮まり社殿は寛永二十年相馬義胤が造営したもので様式が珍らしく、重要文化財として貴重な建造物である。例祭は花の盛りの四月十八・十九の両日であるが七月には前記三社を絡んで野馬追祭が盛大に挙行される。



野馬追祭と年中行事

野馬追祭

野馬追祭は七月十一・十二・十三の三日に亘つて、南北六十軒の旧相馬領の天地を挙げて盛大に挙行される。

初日中村・小高・太田の三社の神輿が、夫々昔ながらの物の具に身をかため各家定めの旗をさした騎馬武者を従えて、原町の雲雀が原に出御になる。「御繰出し」と称する。中村神社御繰出しの行列はすべて古式に則り、陣鐘の音・押太鼓で隊伍を整え「見あせて参れ」の叱咤の声も勇しく、肅々と中村城を後にする。時に午前九時。原町に着けば宵乗りを試み、二日野馬を追う。（今、のろしを追う）数百の騎馬武者が入り亂れて戦國絵巻さながらの光景を展開する。正に天下の偉觀である。三日は小高で野馬掛を行う。野馬追祭は相馬氏の遠祖平将門が関八州の兵を下総の小金原に集めて調練したのに始まり、既に一千余年を傳えている。



相馬神社

中村城跡の中央本丸跡にあり、相馬氏の祖相馬師常（頼朝に従つて戦功あり）を祭つてある。例祭は十月一・二日。境内の藤は樹齢数百年を数え花期にはえも言えぬ美観を呈する。朱塗の袋橋の袂に相馬の國学者岩崎宗山の碑が立つている。



百尺観音

日立木駅の北東に当る三峯山に立つ。山上の眺望絶景。中村駅南方四軒、バス十円。

霊山

霊山は風光と史蹟とを兼ねた名山で伊達と相馬の境に位置する。距離からいつても福島当市間の中央にあり福島を玄関口とすれば当市は背戸口に至る。慈覚大師の霊山寺の跡や北畠顯家が護良親王（後の後村上天皇）を奉じて義旗を翻した霊山城の跡は山上山腹に散在する礎石によって定かに知ることができる。西方山麓（霊山町）にある霊山神社は顯家を祭つている。秋ともなれば奇岩怪石の間を彩る紅葉を賞する観光客で賑わう。縣立公園となっている。中村駅西方三十軒、バス百二十円。

